

公民館にモノクロ版を置いてあります。ご自由にお取りください。

吉賀中だより

令和8年2月24日
吉賀町立吉賀中学校
(文責：城市)

令和7年度 学校教育目標

「自他を大切にし、共に自らの可能性を広げる生徒の育成」

めざす生徒像

- 誠実な生徒 【誠実】
- 自ら行動できる生徒 【自主】
- 新たな表現のできる生徒【創造】
- 学び合い高め合う生徒 【連帯】

今年は冬季オリンピックイヤー。ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが、2月6日に開会式を迎え2月22日までの17日間（カーリングやアイスホッケーなどは開会式前から始まっていました）開催されました。連日熱戦が繰り広げられ日本選手だけでなく海外選手も含め、素晴らしいプレーや演技にたくさんの感動を覚えました。また、インタビューに答える日本人選手が、これまで支えてくれた多くの関係者への感謝を言葉にしていたことにも心を揺さぶられました。イタリアでの開催のため日本との時差は8時間あり、競技によってはライブで応援するために寝不足になった方もおられたと思います。3月6日から3月15日までの10日間は、ミラノ・コルティナ冬季パラリンピックも開催されます。多くの選手の活躍と素晴らしい演技や熱戦を楽しみにしています。

さて、早いもので二十四節季の「雨水（うすい）」を過ぎました。「雨水」は、雪が雨へと変わって降り注ぎ、降り積もった雪や氷も溶けて水になる頃という意味があるそうです。凍っていた大地がゆるんで草木が芽生え始める時期で、雪解け水で土が潤い始めるため昔から農耕の準備を始める目安とされたそうです。また、春一番が吹くのも立春から春分までの今の時期ですが、これから三寒四温（さんかんしおん）を繰り返しながら、少しずつ確実に春に向かっていきます。今年は3月5日が「啓蟄（けいちつ）」ですので、草木の芽生えと共に冬ごもりしていた虫や生き物たちが春に向けて動き始める息吹きを感じる時期が近づいてき、春の訪れを少しずつ感じる季節になりました。

さて、2月という新たな年のスタートを振り返ると同時に、今年度の一年間を振り返り年度のまとめを始める時期だと毎年思います。1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると1月～3月の気忙しいさを表現することがありますが、新年のスタートと年度のまとめを同時にしているために、この時期は日々時間が早く過ぎるような気がするのでしょうか。今年度もいよいよ残りひと月余りとなりました。本校でも今年度のまとめと来年度へのスタートに向け頑張っているところです。

全校カルタ大会を開催しました

1月23日（金）に全校カルタ大会を実施しました。これは国語科（先生）で企画したもので、文化委員会がお手伝いをしてくれました。

○自分たちが作った四字熟語かるた（100枚）で対戦しながら語彙を増やす。

○全校で共通の課題に取り組み、学び合う姿勢を養う。

ということねらった初めての校内大会です。運営は文化委員会がお手伝いしました。

当日の対戦は、縦割りでグループを作り教職員も各グループに交じっての真剣勝負が繰り広げられました。まず「覚えるタイム」でカードの場所を覚えます。カードの場所を覚えるこの時間は、まるで競技カルタの様相でした。その後、和気あいあいとした雰囲気の中で、水津先生の読んだ四字熟語を探すカル



タとりが始まりました。20枚読み終える度に「覚えるタイム」を入れながら徐々に残り枚数が減ってきます。「はいっ!」「取ったあー!」と大きな声が上がるとその度に段々と白熱してきました。60枚読み終えた後は、読み手が意味を読みその四字熟語を探すカルタとりになりました。次第にカードの枚数が減ってくるといつの間にかお互いの頭が近づき、あまりの白熱の状況に最後の数枚は両手を頭の上に置いて構えての勝負になりました。勝負の結果、20枚も獲得した生徒もおり、各グループのカード最多獲得者を表彰するととても嬉しそうに表彰を受けていました。また来年も是非行いたいですね。

今回使用した100枚の四字熟語カードは主に3年生の国語の教科書から選んだもので、実は私も知らなかった四字熟語も混じっていました。そのため少しでも四字熟語を覚えられるように、校舎内に掲示したり家勉ノート用にプリントを作成したりして、事前に全校生徒が少しでも覚えられるように工夫していました。カルタで使った四字熟語の一覧は、今も校舎内の職員室前などの廊下に掲示してありますので、関心のある方は是非ご覧になってください。

吉高生が

授業学習サポートをしてくれました

吉賀高校のアントレプレナーシップ教育の1・2年生による成果発表会が、2月6日（金）に開催されたことをご存じでしょうか？（私はオンラインで見学させていただきました）

その中で「ひらめきサポート隊」と題した取組を発表した吉賀高校1年生3名は、1月20日（火）は英語、30日（金）は数学で、いずれも2年生の授業に学習サポーターとして参加してくれました。本校2年生は6名なのですが、日によっては体調不良による欠席者もありましたので、ほぼマンツーマンでの学習サポートを受けることになりました。

来校した高校生に「このサポートを試してみようと思ったのはどうして?」と尋ねてみると、「教科の学習を教えたりサポートをしたりしてみたかったから」と答えてくれた通り、一人一人に丁寧にサポートをしていてくれました。高校生にとってはほんの2年前の中学2年生だった頃の学習ですので、中学生がつまづくところや間違いやすいところが良く分かるようです。本校2年生には英語や数学を苦手とする生徒もいましたので、吉賀高校の生徒からサポートを受けることで学習がいつもよりはかどりに学習に意欲的な様子でしたのでとても助かりました。

吉賀高校のアントレプレナーシップでは、上記の他にも町内の小中学生を対象とした取組にチャレンジした生徒もいましたので、本校では実態把握アンケートなどへの協力もしています。今後も、吉賀高校との連携を一層図り、連携型の中高一貫教育を進めていきたいと考えています。



両手を頭に置いて構えて…
「あっ、これだっ!」



公民館にモノクロ版を置いてあります。ご自由にお取りください。

中学校入学説明会を行いました

来年度（令和8年度）吉賀中学校入学予定の小学6年生を対象にした中学校入学説明会・部活動体験を、1月27日（火）の午後に本校で実施しました（残念ながら2名は体調不良による欠席でした）。中学校での説明会ですので少し緊張した面持ちでしたが、平素からの顔見知り同士という安心感もあったのでしょうか、中学校への入学に対する期待と不安が入り交じった中ではあるものの、表情は少し和らいでいる様子で中学校生活やきまり等の説明をしっかりと聞いてくれました。

入学説明会の後は、中学校の体操服と来年度から取り入れるブレザー型の制服の採寸を行いました。きっと新しい体操服や制服に心ワクワクしていたことと思います。吉賀中学校への入学まであとひと月半。入学までに小学校での学習内容や生活リズム等しっかり身につけ整え、新たに始まる中学校生活に向けての準備をしておいて欲しいと思います。

採寸の後は部活動体験をしてもらいました。野球部（男女）、ソフトテニス部（男女）、女子バレーボール部の中から体験したい部活動を選んでもらいました。が、なんと全員が女子バレーボール部の体験を選びました。本校では現在は部員がいないため昨年度の2学期以降休部していますが、久しぶりに体育館アリーナにバレーボールの音が響き渡り、パス練習等を楽しそうに行っている姿を見ることができました。

学校評議員会を開きました

本校では、教育活動及び学校運営の状況について自己評価を行いその結果を学校評議員会において学校関係者評価を行っています（自己評価については、先月の学校だよりに掲載しています）。本年度は2月18日（水）に学校評議員会を開催し学校関係者評価を行いました。なお、年度終わりになってのご紹介となり申し訳ありませんが、本年度の学校評議員さんは次の4名の方々です。（年度途中での交替がありました）

様（朝倉公民館長）
様（前任主任児童委員）

様（七日市公民館主事）
様（本校保護者会「つなぐ」代表）

本年度本校では「学び合う学び」について、外部講師を招聘しての研修や先進校視察を実施しながら進めてきました。まだまだ十分な取組の進捗状況とは言えないながらも、各教員が「主体的で対話的で深い学び」をめざし、グループやペアを利用した協同的な学びにチャレンジしています。今回、学校評議員の方々には各学年の授業を参観いただきそれらの一端をご紹介させていただきました。また、事前に送付させていただいた学校評価結果についてのご意見や日頃からの生徒の地域での様子や学校行事での様子等について、更に本校の教育活動についてのご意見やご感想をいただきました。

全てのご意見を掲載することは紙面の都合でできませんが、生徒の様子も見られ肯定的なご意見をたくさんいただきました。次年度以降もこれまでの取組を活かし、一層吉賀中らしい教育活動を進めていきたいと思っております。今後ご支援・ご協力の程よろしくお願いたします。

地域の皆様へ

中学校の制服が替わります

本校在校生の保護者並びに七日市小・朝倉小の保護者の方には既に説明を行っていますが、令和8年度4月より町内3中学校（吉賀中、柿木中、六日市中）の制服が替わります（右ページ上のようなイメージです）。昨年度当初より、町内3中学校長会において共通制服への改定協議を行ってきました。改定の理由は、①制服のジェンダーフリー化、②温度調節のしやすさを主な理由としています。また、改定にあたっては、活動のしやすさ、メンテナンスのしやすさ、耐久性に加え、町内の校区外小学校からの入学にも対応（兄弟姉妹で異なる中学校へ進学した場合もお下がりを使うことができる）して町内3中学校の制服を統一することとしました。ただし、改定にあたり保護者の経済的負担増とならぬよう、現行の制服との価格差の少ないものとすると共に、現行の制服（詰め襟学生服、セーラー服）のお下がりを使用することも当面

体育科において武道（柔道）の授業が始まりました。今月上旬に生徒が吉賀高校道場の柔道畳敷きに行きました。毎回柔道の授業では吉賀高校の道場にお邪魔して柔道畳で授業を行っています。

の間、認めることとしています。

改定までの経緯としては、小学校保護者、中学校保護者への制服に関するアンケートを実施し、その上で制服製造会社との協議を行いました。本年度になり、新しい制服を決定し販売小売店の了解を進めました。生徒には、ジェンダーに関する問題学習（町内小学5・6年生、中学1・2年生）も行い、町内小学校の保護者への説明もそれぞれ行ってきました。

県内外においてもジェンダーフリーの制服への改定が多く多くの学校で進んできています。本町のように町内の中学校の制服を揃えるという取組は、まだ多くは取り入れられていませんが、生徒数の減少に伴い今後徐々に広がりを見せていくと思います。4月から新たな制服姿の町内中学生に出会われましたら、どうか温かい視線で言葉を掛けてあげてください。



新制服のイメージです

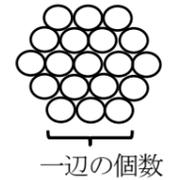
お待たせしました！

数学の問題の解答です

昨年（令和7年）12月号に、数学の問題を掲載しました。その後「正解は？」と気にされている方がおられると聞きましたので、以下に解答例を掲載します。なお、考え方についてはあくまで私の考えた解法ですので、もっとスマートな解法もあると思います。ご容赦ください。

本年度12月号の問題

オセロゲームのコマを右の図のように正六角形の形状に並べます。例えば、「一辺の個数」が3個のときは、右の図のようになります。並べたコマの全体の個数は19個ですから、「一辺の個数」が3個のときは「全体の個数」は19個ということになります。



それでは、

- ① 「一辺の個数」が6個のとき、「全体の個数」はいくつになるでしょう？
- ② 「一辺の個数」が21個のとき、「全体の個数」はいくつになるでしょう？

「一辺の個数」が4個のときの図を使って考え方を示します。

《解答例》

「一辺の個数」が4個のときは右の図1のような正六角形になります。このとき、真ん中の1個を除いた残りのコマを、3つの平行四辺形で囲むと、図2のようになります。

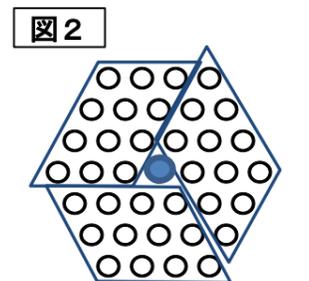
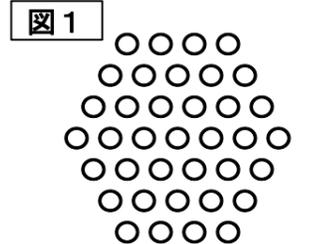
1つの平行四辺形のコマの数は、

$(\text{一辺の個数}) \times (\text{一辺の個数} - 1)$ と求められます。

全体ではこの平行四辺形が3つあり、さらに真ん中に1個ありますので、

$(\text{全体の個数}) = (\text{一辺の個数}) \times (\text{一辺の個数} - 1) \times 3 + 1$
と求めることができます。

- ① 「一辺の個数」が6個のとき、
 $(\text{全体の個数}) = 6 \times (6 - 1) \times 3 + 1$
 $= 91$ (個)
- ② 「一辺の個数」が21個のとき、
 $(\text{全体の個数}) = 21 \times (21 - 1) \times 3 + 1$
 $= 1261$ (個)



いかがでしょうか？これなら小学5年生にも理解できそうですね（ウールマークが浮かんでいて思いついた考え方です）。勿論、上記以外の様々な考え方がありますし、表などを使ったり数列和（高校で学びます）で考えたりされた方もおられると思います。もっとスマートな考え方がありましたら、是非お知らせください。